

事業所名

POLKU野芥

支援プログラム（参考様式）

作成日

R8

年

4月

10日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一人として溶け込み、協力し、ともに歩むこと。 ・多様性が認められる社会の実現を、さらに押し進める組織であること。 ・すべてにおいて、職員が「自分の家族を通わせたい」と思える基準を目指す。 ・支援を通じて、利用者様に可能な限りの喜びを提供し、痛みを和らげると同時に、職員の生活の質を高めること。そのための企業努力を惜しまないこと。 ・健全な支援は、健全な環境でのみ成し得る。社員一人一人の能力が破棄しやすい環境を目指し、チームで考え改善するサイクルを繰り返すこと。 ・問題や課題に対して、個人に責任を押し付けることなくチームとして取り組むこと。 ・利用者様に施設や社会のルールを語るのであれば、組織としても運営規則、労働条件、交通ルールをはじめ、あらゆる法令を遵守すること。 						
支援方針		POLKUでは「一人ひとりの尊厳を大切にす支援」を基盤にしています。発達の遅れを「伸ばす対象」としてではなく、その子らしさを「理解する対象」として支援します。診断名や発達の遅れで子どもたちの価値を決めず、「自分のままでいい」と思える時間と居場所をつくります。できる・できないではなく、「好きな事・得意な事」を通じて自信を育てていく事を目指しています。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの安定のため、日々の睡眠時間や服薬、一日のルーティンを把握しお子様の体調の変化に合わせ支援します。 ・トイレトレーニングや着替え、食事動作等日常生活動作の習得できるよう支援します。 ・精神面でのストレスなど個別活動や運動などを通して発散できる場を提供します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持のための体幹筋力の向上を支援します。 ・感覚統合療法をもとに、感覚に基づいた自分の得意・苦手に気づき、情緒の安定や姿勢調節・運動能力の向上を支援します。 ・粗大運動や遊びを通して、操作の力加減や姿勢コントロールを支援します。 ・工作やクッキングに取り組み、お箸操作や運筆操作等の上肢操作の向上を支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・注意持続が苦手なお子様でも環境を調節し、まずは好きな活動からスモールステップで集中力が向上できるよう支援します。 ・一日の流れや時間軸、曜日の概念が把握できるよう支援します。 ・認知の偏りや個々の特性を配慮しながら、こだわりや偏食・物の捉え方・行動面に対しても支援を行います。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・物事と言葉が結び付くように色々な遊びや活動を通して言語の習得や発声を促していきます。 ・SST等の活動の中で相手の表情を見る習慣づけを行い、相手の気持ちを汲み取ったり、相手のお話を聞く練習に努めます。 ・癩癩時や児童同士のトラブルに関して、言葉で伝えることだけにとらわれず、代替的なコミュニケーションを活用しながら落ち着いて相手に伝える方法を獲得できるよう支援します。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係を意識し、信頼関係が気づけるよう支援します。 ・ルールのある遊び・屋外での活動に積極的に取り組み、交通ルールや集団での活動を意識して取り組めるよう支援します。 ・社会見学などを積極的に取り組み、お子様の将来像や目標につながるよう支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の発達状況や特性に応じた支援ができるよう、定期的な面談や日々の申し送りで情報交換できるよう支援します。 ・保護者参加型のイベント等で保護者同士の交流、気軽に相談できる環境に努めます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な移行を見据えた支援ができるよう、保護者やお子様への情報提供や支援に努めます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や医療機関、相談支援事業所と連携できるよう情報交換に努めます。 ・地域でのイベント参加や、社会資源を利用しながら地域での活動を増やしていきます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・職員のキャリアアップ研修や専門研修等に参加し職員のスキルアップや支援の質の向上へと努めます。 ・虐待防止・身体拘束の研修を定期的実施。 ・法人や事業所の運営に関わる資格取得研修の配置。 	

主な行事等

- ・週に2回運動プログラムや制作プログラム。
- ・月2～3回のクッキングや外出を実施。
- ・ニーズに合わせた個別プログラム実施。